

10月の野菜の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
だいこん		12,467	120%	13,666	149	54%	97	-	-	各産地とも台風18号の影響はほぼなし。北海道産は出荷終盤だが播種の遅れた地域もあり、平年より増量の見込み。前年天候不順で少なかった関東産は生育順調に推移しており、月計の予想入荷量は前年比120%。上旬は北海道産と出始めの関東産が重なり、下げ気配強まるが、中旬以降は北海道産の減少にともない保合い推移。下旬には関東産の量も出揃い弱含みの展開が予想される。前年のような品薄感はなく、価格は高値の前年より大幅安く、平年比でも安。
はくさい		14,716	103%	14,692	143	56%	80	-	-	長野産、後続の茨城産とも前年の高値を受け生産意欲は高く、作柄も順調。茨城産は作付増の流れもあり、月計の予想入荷量は前年比103%と微増。価格は高値の前年より大幅安も平年並み。
ねぎ		5,535	前年並	5,805	372	81%	282	391	7.1%	東北産地は台風18号の被害はほとんどなく、平年作の見込み。北海道産は倒伏、葉折れ等の被害が生じ、正品率低下が懸念される。東北産の入荷見込みは前年並み～やや増、北海道産は少なかった前年並み。月計の予想入荷量は前年とほぼ同じ。例年通り9月下旬～10月上旬まで稲刈り作業でねぎの出回り量は落ち着いており、上げ気配強まるも、下旬には稲刈り作業も終わり、ねぎの増量にともない弱含みの展開が予想される。価格は高値の前年比安も平年よりやや高。
きゅうり		5,312	105%	5,978	497	60%	327	105	2.0%	東北産地は長引く天候不順のため、平年作を下回り、入荷量は少なかった前年並み。関東産は作付増の流れの中、平年作と見込まれ、月計の予想入荷量は前年比105%。上旬は東北産が減り込み上げ気配強まるが、下旬は関東産の増量と西南暖地産も出始め、弱含みの展開が予想される。価格は高騰した前年より大幅安く、平年比でもやや安。
トマト		5,771	平年並	6,355	545	73%	458	67	1.2%	東北・関東産地の作付け面積は微減傾向。8月～9月にかけての天候不順のため、現状の作柄は平年レベルをやや下回るが、不作だった前年よりも良好。西南暖地産の作柄は平年作と順調。月計の予想入荷量は前年比120%と前年以上も平年並み。9月前半は品薄高で動いたが、中旬以降は入荷回復と高値疲れで、相場は下げながらの推移となっている。10月は平年並みの入荷見込みから、相場は保合い推移と安定。現状の相場の流れと前年の高値反動もあり、価格は前年、平年比でも安。